

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	編集後記
Sub Title	
Author	向井, 健(Mukai, Ken)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1993
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.66, No.12 (1993. 12) ,p.305- 305
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	阪埜光男教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19931228-0305

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

周知のとおり、わが法学研究会では、定年（選択定年を含む）を迎えて御退職される専任教授に対して、記念論文集を特集して献呈することを、恒例としている。

阪埜光男教授が、本年三月をもってわが義塾法学部を退かれた。ここに記念の特集号一冊を編み、御退職記念の論文集としたゆえんである。

阪埜教授は、碩学・津田利治先生門下の俊秀として商法とくに会社法を専攻し、研究・教育に、さらには大学行政に専念された。その輝かしい業績・経歴は、別掲に見るとおりである。義塾を御退職後は、桐蔭学園横浜大学の初代法学部長に就任され、今日に至っている。新天地での一層の御活躍を切に希求したい。

本号担当の責任者として、この〈編集後記〉を執筆している筆者は、実は、阪埜教授と「同じ釜の飯を喰った」御縁がある仲である。

現在の若い世代のスタッフ諸君には、にわかには理解し難いかも知れないが、その昔（！）、三田山上の現・研究棟のほぼ東側半分に当たる場所には、〈第一研究室〉と称する、見るから

に古色蒼然とした三階建ての建物があった。正面向って右手の入口の奥まったところに研究室事務室があり、その当時は、昨年物故されたT先生が主事で、F氏（故人）が係主任格であった。

日本法制史という基礎法学の特殊領域を専攻する筆者は、二階奥の商法部屋所属になった。高島正夫先生がキャブテンで、米津昭子先生が副将格で、らみ、をきかせ、阪埜教授・倉澤康一郎教授（現・法学部長）に筆者らが新参者であった。要するに「合い部屋」であったわけである。その後、南校舎五階や第一校舎四階に研究室が増設され、研究室全体の態様も少しずつ変化したのであった。

いわゆる大学紛争の最盛期に、阪埜教授と入試事務作業を御一諸したのも、筆者にとっては、懐しい思い出の一駒である。筆者の記憶にもし誤りがなければ、教授はたしか会計担当ではなかったろうか。

その阪埜教授の御退職は、ひとときわ惜別の感にたえないものがある。将来に向って、われわれのために、従前にかかわらず御教導を切に希求して止まない。

法学研究編集委員一同は、阪埜教授の末長き御健康と御研究の発展を、心より祈念するものである。

平成五年十二月

法学研究編集委員会 向 井 健